

# 沼田市長選挙 横山公一氏が312票の僅差で初当選 市民の願いにこたえ 市民のくらしを支える市政を

4月27日、投開票でおこなわれた沼田市長選挙で新人の横山公一氏が、現職の星野已喜雄氏と新人の金子浩隆氏を下し、初当選を果たしました。

グリーンベル21問題や庁舎建て替え、少子高齢化への対応、地元での働く場所の確保など市政を取り巻く状況にはきびしいものがあり、市民が安心してくらししていくことができる市政運営が求められています。

横山氏は選挙中、「決断と実行」をスローガンに市政の一新を訴えましたが、市民の理解と協力がなければ市政をすすませることはできず、市民への説明と納得を得ることに力を注ぐことも必要ではないでしょうか。

## 林柳波のゆかりの品を紹介 林柳波のお孫さんも来場 家族写真や直筆の掛け軸、レコードなどを展示

沼田市の名誉市民であり、「おうま」「うみ」などで知られる童謡作詞家の林柳波の資料を展示した「柳波展」が4月26日～30日まで、中央公民館でおこなわれました。



林柳波は、明治25年(1892)材木町で生まれ、唱歌や童謡、校歌など1千編余りの作品を残しました。会場には、レコードや自筆の掛け軸、詩集などが展示され、28日には、柳波のお孫さんも来場しました。

## 沼田に春の訪れをつげる正覚寺観音まつり 本町通りでは歌声が響く「わらべフェスタ柳波まつり」

沼田に春の訪れをつげる「正覚寺の観音まつり」が4月29日おこなわれ、28日・29日本町通りでおこなわれた「わらべフェスタ柳波まつり」とあわせ、多くの人を訪れました。

観音まつりでは、百体観音のご開帳があり、参道には露店が並びました。



## 続つらい散歩 めまた道 沼田地区 特別編その十七 沼田地区あれこれ

柳町の産寧坂  
柳町の三光院の十一面観音の腹部が膨らんでいることから、「身ごもり観音」とよばれ、安産祈願に多くの人を訪れました。

高橋場町から三光院に向かうと坂があり、この坂を安産祈願で上り下りすることから「産寧坂」(さんねいざか)とよぶようになりました。



## 天下泰平 家内安全 五穀豊穰を願って 平川古滝庵不動尊縁日

平安時代に干ばつで困った村人が、滝の下に不動尊を建てたのがはじまりと言われている、「平川古滝庵不動尊」の縁日が4月28日おこなわれました。



護摩供養や滝行もおこなわれ、多くの人がお参りに訪れました。



群馬良三夫婦の墓  
西原新町の平等寺に「群馬良三夫婦」の墓があります。

群馬良三は、江戸時代末期、大阪の緒方洪庵の「適塾」(てきじゅく)で西洋医学を学び医者となりました。(群馬県で適塾で学んだのは、2人だけ)

良三は、明治時代になると沼田で開業し、利根郡の群医にも任命され、利根郡内の医師の指導もおこないました。



民主党政権時代に、自民・公明が協力して消費税の増税を決めた時、これらの党は「身を削る」と主張しましたが、民意を閉め出す国会議員の定数削減より、税金を分け取りする政党助成金を廃止するべきです。

こんにちは 大東のぶゆき です  
こんにちは。消費税の税率が5%から8%に引き上げられた4月1日、今年の各政党への政党助成金の金額が発表され、受け取りを拒否している日本共産党を除く九つの政党で、総額320億円を分け取りします。  
政党助成金制度ができたのは、企業献金による政治の腐敗が眼にあまり、企業献金を廃止し、その代わり政党財政の一部を税金で支援するのが建前で、お年寄りから赤ちゃんまですべての国民が一人250円の税金を負担していますが、政党支持に関わりなく国民から一律に税金を取り上げ、政党に配るといのは、思想・信条に反し、助成の対象になる政党を国会議員の数などで選別することは、結社の自由にも反します。